

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、本書は別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。

- 水栓本体(ナット・取付金具・パッキン付き)
- ワン(上下セット)(2個)
- 吐水口
- 六角レンチ(対辺10ミリ・2.5ミリ)(各1個)
- 取扱施工説明書
- 安全上のご注意
- 保証書

施工の前に

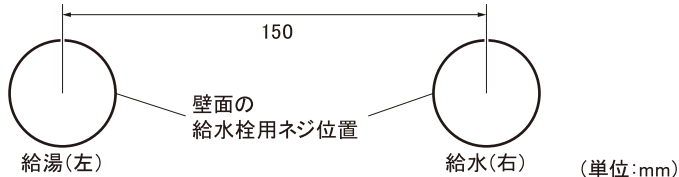
準備するもの

- モンキーレンチ
- シールテープ
- *その他、施工に必要な配管部材等は別途ご準備ください。

施工条件

壁面の給水栓用ネジが、以下の間隔であることをご確認ください。

【正面から見た図】

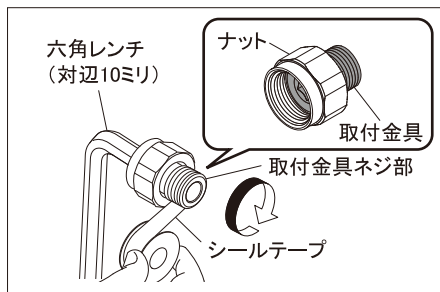


必ず実行 本品は重いので壁の強度をご確認ください。

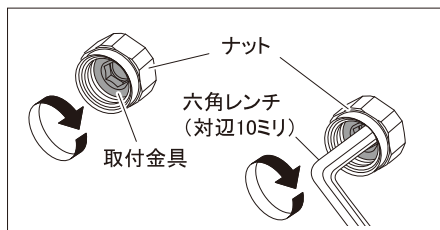
施工方法

数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. ナットを壁に取付けます。



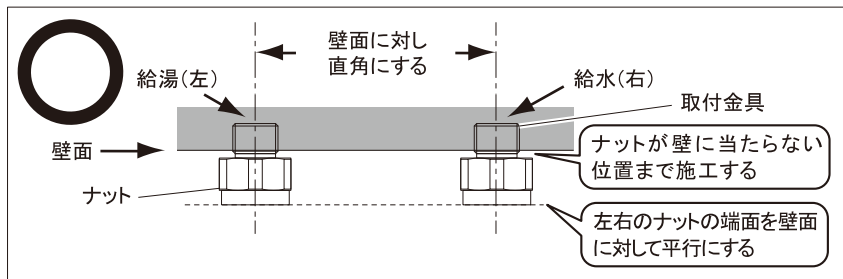
- ①水栓本体からナット・取付金具・パッキンを取外します。
*パッキンはなくさないようにしてください。
- ②「六角レンチ(対辺10ミリ・同梱)」を取付金具に差し込み、取付金具ネジ部にシールテープを巻付けます。軽く引張りながら時計回りに7~8回、ネジ部全体に均等に巻付け、巻終えたら、シールテープを引きちぎります。



- ③「六角レンチ(対辺10ミリ・同梱)」で取付金具(左図■箇所)を時計回りに締付けて壁に固定します。
*締付ける際はナットが壁面に当たらないようにしてください。

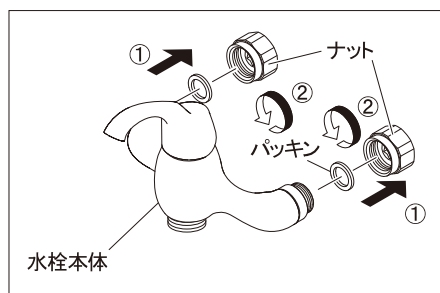
注意 ●取付金具を取付ける際、逆方向にまわしてゆるめると漏水の原因となります。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度②からやり直してください。
●ナットが壁に当たるまでねじ込むと、水栓本体が取付られなくなるためご注意ください。

*下図を参考に、取付金具が正しく取付けられていることをご確認ください。



施工方法(つづき)

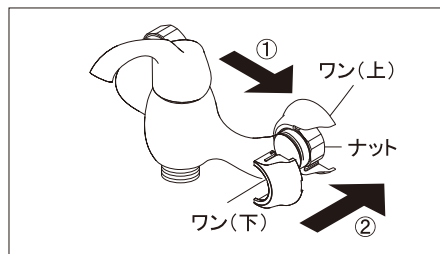
2. ナットに水栓本体を取付けます。



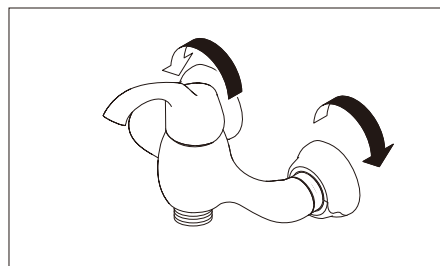
- ①ナットにパッキンをはめ込みます。片手で水栓本体をナットにあて、もう片方の手でナットを反時計回りにまわして仮固定します。
*パッキンの入れ忘れにご注意ください。
- ②最後にナットを増締めし水栓本体をしっかりと固定します。

注意 水栓本体は重いので、落下等に十分注意して作業を行ってください。

3. ワンを取付けます。

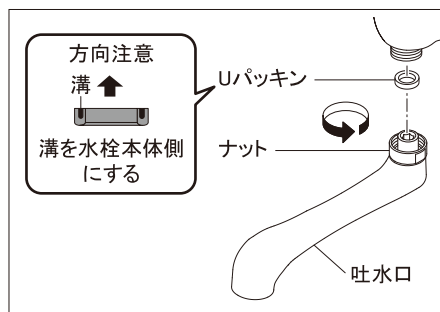


- ①図のようにワン(上)をナットに被せます。
- ②ワン(下)を正面からカチッとまでスライドさせてワン(上)に取付けます。



- ③ワン(下)が下にくるようにワン全体をまわします。

4. 吐水口を取付けます。



- ①吐水口のナット部の白キャップとUパッキンを取外し、Uパッキンを溝のある側を水栓本体側にして水栓本体にはめ込みます。
- ②吐水口を水栓本体に差し込み、ナットを締付けます。

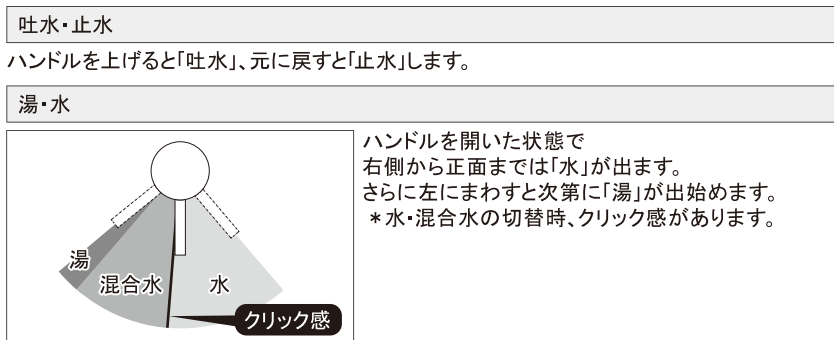
注意 Uパッキンの挿入方向を誤ったり、傷を付けたりした場合、漏水や回転不良の原因となります。

施工後の確認

- ①元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを抜き、湯水の混合具合および吐水状態を確認します。

使用方法

ハンドルの操作方法



必ず実行 ●湯をご使用時は、最初は必ず水から出してください。その後ゆっくり湯側へ開き、お好みの温度に調節してください。ハンドルを湯側から先に開くと高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。
●ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉じると配管に衝撃が加わり、配管から漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

凍結防止方法

水栓周囲の温度が0°C以下になり凍結の恐れがある場合は、下記の方法で凍結を予防できる場合があります。

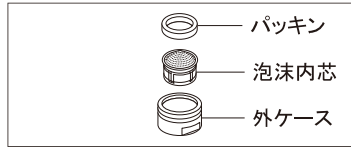


- 配管を保温する。
- 水栓から水を少量出しておく。(目安:1分間に200ml程度)
- 外気が入らないよう窓等を閉める。

*凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

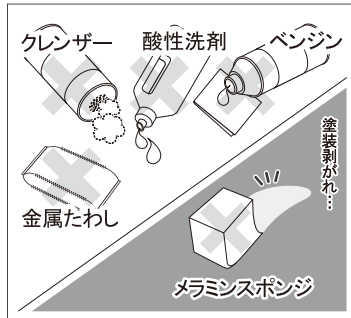
お手入れ方法

泡沫内芯のお掃除



ご使用開始時に比べて著しく水の出が悪くなった場合は、吐水口先端の泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために

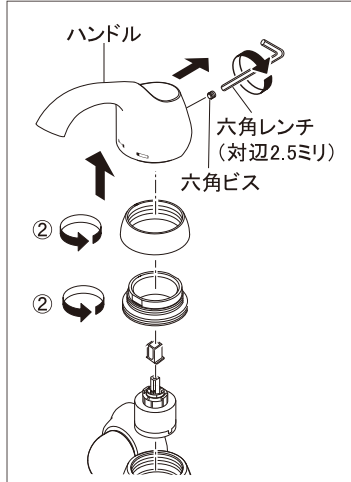


- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。

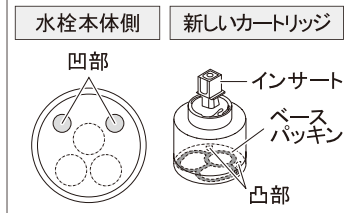
注意 金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

カートリッジの交換方法

作業前に、必ず止水栓または元栓を閉じて止水してください。



- ①「六角レンチ(対辺2.5ミリ・同梱)」で六角ビスをゆるめ、ハンドルを取外します。
*六角ビスはなくさないようご注意ください。
- ②カートリッジカバー・締付ナットを反時計回りにまわして順に取外します。
- ③古いカートリッジを抜取ります。



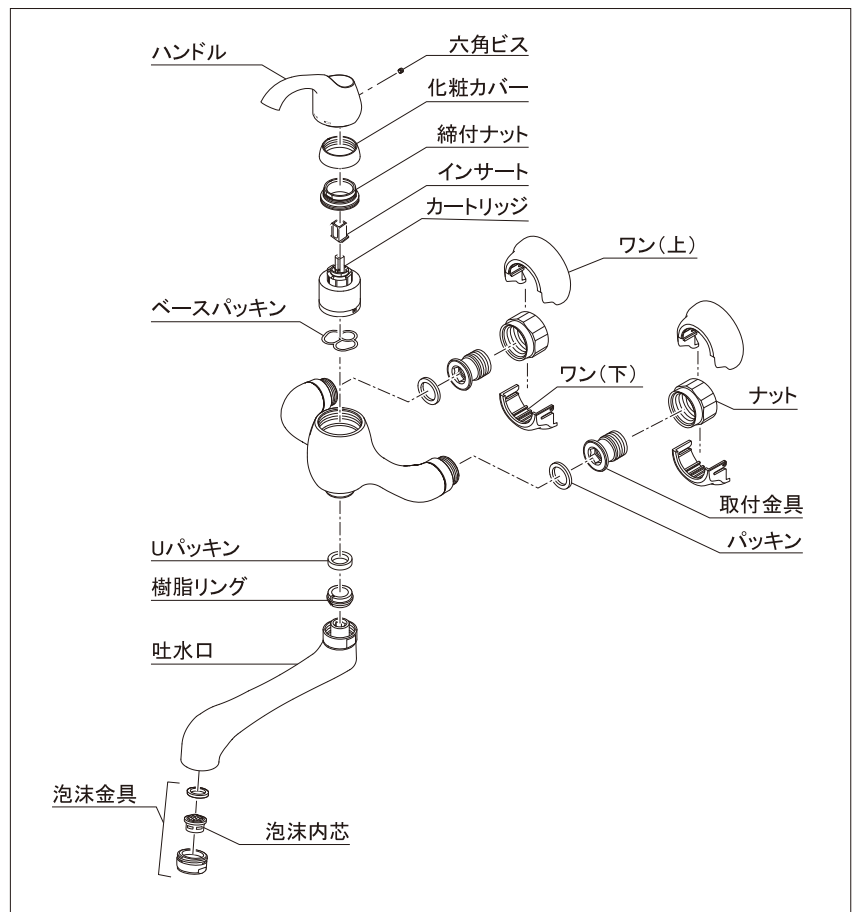
- ④新しいカートリッジの底にベースパッキンが付いていることを確認後、カートリッジ底の凸部が水栓本体の凹部に合うように差込みます。
- ⑤①～②の逆の手順で組直します。

注意

- ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取外してください。
- カートリッジ底にベースパッキンが付いていることをご確認ください。
- カートリッジ底の凸部を水栓本体の凹部に合わせてください。
- 締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付けすぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないことをご確認ください。

分解図



*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

こんな時には... 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に、**分解図**を参考に下記の要領で点検してください。

現象	原因	対処
低温しか出ない	給湯機の能力(給湯機の異常)	別紙「安全上のご注意」の 使用条件 をご参照ください。
吐水不良	吐水量が少ない	元栓を調節する 泡沫内芯を掃除する
	全く吐水しない	元栓が閉じている 適正水量になるまで元栓を開く
止水不良	止水できない	カートリッジの異常 カートリッジを交換する
	ハンドル根元から漏水	締付ナットのゆるみ 締付ナットを締める
動作不良	吐水口根元から漏水	カートリッジの異常 カートリッジを交換する
	ハンドルがガタつく	Uパッキンの異常 Uパッキンを交換する
動作不良	ハンドルがかたつく	六角ビスのゆるみ 六角ビスを締直す
	ハンドルがかたい	締付ナットの締めすぎ 締付ナットを締直す
		カートリッジの異常 カートリッジを交換する

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

分解禁止 本体内蔵のカートリッジや部品等は、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

修理を依頼される前に

000-000 ← 品番
* * * *

お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせいただく際、水栓本体にシールが貼付けられている場合は、そちらで品番をご確認ください。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0324GF

M-A1517

無断転載・複写を禁ず